

和暦	西暦	沿革
大正 10 年	1921 年	篤志家の寄附により、伊那富小学校内に「伊那富図書館」を設置する。 早くから巡回文庫を運営していた伊那富村青年会が小学校教師らと村内篤志家から寄附を募り、伊那富村小学校内に「伊那富図書館」を設置
大正 11 年	1922 年	皇太子渡欧を記念して 1 月 12 日開館、図書貸出しを開始する。 皇太子渡欧を記念して開館、図書貸出しを開始(1 月 12 日)
大正 13 年	1924 年	皇太子御成婚記念事業として拡張をする。 皇太子御成婚記念事業として拡張、充実をはかる
昭和 11 年	1936 年	武井覚太郎の寄附で耐火書庫を設置し、青年教育に貢献する。 武井覚太郎氏の寄附で伊那富小学校校舎に付属して耐火書庫を建築、青年の読書教育を充実
昭和 21 年	1946 年	戦後いち早く内容を整備し、青年団の手で運営充実をはかる。 戦後の時流に対応して図書館内容を整備充実、青年会が運営を充実
昭和 34 年	1959 年	運営を辰野町に移管し、町立辰野図書館として 7 月発足する。 運営を町へ移管、町立辰野図書館として発足(7 月 1 日) 読書グループ活動スタート
昭和 36 年	1961 年	第 7 回長野県図書館充実運動で信毎賞受賞(1 月 16 日)
昭和 42 年	1967 年	西小旧校舎が町公民館となり、全面改築のため、図書館・学習室も改装する。 西小学校全面改築に伴い旧校舎を町公民館として改修。図書館も改装、整備を図る
昭和 57 年	1982 年	文化センターの一つとして新図書館が完成する。 総合文化センターの一環として新図書館建設、7 月 11 日開館
昭和 63 年	1988 年	保育所・児童館へ巡回貸出し開始
平成 2 年	1990 年	移動図書館車導入
平成 3 年	1991 年	201 号室に冷房設備(7 月 17 日) AV コーナー開設(10 月 31 日) 創設 70 周年、新館開設 10 周年記念の図書館まつり開催(10/31～11/8) 貸出冊数を 1 回 2 冊から 5 冊 21 日以内へと規則改正(11 月 1 日)
平成 14 年	2002 年	創設 80 周年、新館開設 20 周年
平成 24 年	2012 年	創設 90 周年、新館開設 30 周年
平成 25 年	2013 年	開館 90 周年+1 記念事業
令和 4 年	2022 年	創設 100 周年、新館開設 40 周年